

寄贈図書リスト

シリーズ：シリーズ宇宙物理学の基礎 宇宙物理

学の基礎 第5巻 輻射電磁流体シミュレーションの基礎, 松本倫明・大須賀健・須佐元, A5判, 392ページ, 税込4,180円, 日本評論社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し, 受領の連絡をいたします。

人事公募

東京大学宇宙線研究所 准教授

1. 職種及び公募人員：准教授（テニュアトラック）1名
2. 職務内容（専門分野）等：本研究所の高エネルギー宇宙線研究部門では, 高エネルギー・超高エネルギーガンマ線観測に関して, (1) あるいは(2) の職務を担い, 現行実験および次期・将来計画を積極的に推進し, 宇宙物理学, 宇宙素粒子物理学, マルチメッセンジャー天文学の発展に貢献できる方を求めます。
 - (1) 国際ガンマ線天文台CTAの大口径望遠鏡アレイの建設を推進し, 望遠鏡の管理・運用を担い, 高エネルギーガンマ線の観測的研究を進める。
 - (2) チベット実験の空気シャワー観測装置の管理・運用, および南半球における空気シャワー観測装置の拡張（アルパカ計画）の建設・管理・運用を担い, 超高エネルギーガンマ線の観測的研究を進める。なお, 2013年の宇宙線研究所将来計画検討委員会の報告書にある連携研究推進の提案に基づき, テレスコープアレイ実験にも所属し, 二つの研究グループの連携により超高エネルギー宇宙線の観測的研究を推進する。
3. 勤務地：宇宙線研究所（千葉県柏市柏の葉）
4. 応募資格：雇用の時点で博士号を取得していること
5. 着任時期：決定後なるべく早い時期
6. 待遇：給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します。
7. 任期：任期5年。着任後約3年間をテニュアトラック期間とし, 3年近く経過した時点でテニュア着任の審査を行い, 審査で認められれば任期なしに移行します。テニュアトラック期間は, 研究予算100万円/年のスタートアップ支援をいたします。
8. 就業日・就業時間：専門業務型裁量労働制により, 1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。
9. 休日：土・日, 祝日, 年末年始（12月29日～1月3日）
10. 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）を行い, 最終選考は, 面接によります。（面接を受けていただく方には詳細を連絡します。）
11. 応募書類：以下（1）から（5）までの書類をEメールに添付で提出してください。（6）の推薦書又は意見書は, 作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書のファイル形式はpdfとします。（応募書類の提出に対しては, 受信した旨の返信をいたしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください。）
 - (1) 履歴書
 - (2) 研究歴（A4判で3頁以内）
 - (3) 着任後の研究計画（A4判で3頁以内）
 - (4) 業績リスト（論文リスト, 研究発表リスト, 外部資金獲得状況等）及び主要論文（5編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること。
 - (5) 着任可能時期
 - (6) 推薦書又は意見書2通
12. 応募締切：2024年4月1日(月) 正午必着
13. その他：
 - (1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき, 女性の応募を歓迎します。

- (2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。
- (3) 試用期間あり（14日間）
- (4) 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）
14. 送付先：Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
（メールを送信する際は_at_を@に直してください）
メールの件名に公募番号の「ICRR2023-18」を明記してください。

会務案内

公益社団法人日本天文学会 2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日) 事業計画書と予算書

2024年1月15日に開催された代議員総会において2024年度の事業計画書と予算書が承認されました。事業計画書と予算書は電子版を日本天文学会ホームページ (<http://www.asj.or.jp>) で公開しています。ホームページ上部の「日本天文学会について」の情報公開をご覧ください。

日本天文学会 2024年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりです。欧文研究報告・天文月報・年会予稿集・ジュニアセッション予稿集の刊行、年会の開催、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。さらに2020年度から引き続き「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行を予定しています。また、2024年度中に2025～2026年度の会長候補者を選出する選挙を行います。

日本天文学会 2024年度予算書の概要

公益社団法人として、公益目的事業の適切な実施とともに、保有上限額がある遊休財産額の適正化も考慮して予算書を作成しました。全体としては事業収益109,002千円・事業費用116,218千円と、費用が収益を上回る予定ですが、予算上最も大きな欧文報告事業では、円安の影響を受け引き続き収益が費用を上回る見込みです。その他については、現会員数に基づく会

費収益など、ほぼ例年どおりの経常収益です。経常費用については、電子的業務の外注費や電子的コンテンツの維持費といった長期的運用を含む定常的費用に加えて、年会のハイブリッド化、ポストコロナにおける対面による業務の増加等に必要な費用を計上しています。

（文責 庶務理事：勝川行雄，会計理事：鈴木竜二）

事務所からのお知らせ

【移籍・退会について】

2023年度末をもって移籍・退会希望の方で、まだ学会事務所に連絡していない方は、大至急書類のご提出をお願いいたします。書式は当学会ホームページ「各種手続き」から申請してください。

※退会の届け出がない限り、会員資格は年度始めに自動更新されます。会費の納入を停止しても退会とはなりません。

【会費納入について】

◆正・準会員の皆様◆

2024年度（2024年4月～2025年3月）会費の納入期限は、2024年4月30日(火)です。

正会員：16,000円

正会員（学生）：8,000円

準会員：8,000円

予稿集代：4,000円（予約している方）

PASJ紙版送料：2,000円（正会員の送付申請者）

・会費の口座自動引き落とし登録の方は、2024年4月10日に引き落としますので口座残高不足にご注意ください。

通帳には引き落とし代行会社の「JCB」という文字が印字されます。

・口座自動引き落とし登録のない方には、4月1日にメールで支払い方法のご案内をお送りします。

・海外在住の方は、会費金額をご確認のうえ、クレジットカードまたは銀行振込等でご納入ください。詳しくは学会ホームページ「各種手続き」の「会費の納入」をご覧ください。

※クレジットカード会社・金融機関・その他の支払い方法の利用明細、引き落としが印字された通帳のコピーをもって本学会の領収書とさせていただきます。控えや明細書は大切に保管してください。

◆団体・賛助会員の皆様◆

4月に請求書をお送りしますので、それ以降にご納入ください。

賛助：30,000円（1口）団体：10,000円

入会・移籍・退会のお知らせ

2023年12月27日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：76名 準会員：11名

退会 正会員：2名 準会員：4名

移籍 準→正：0名

年会開催地立候補の募集

日本天文学会では年会開催地の決定にあたり立候補を募集いたします。詳しい内容は学会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。なお、開催地は立候補状況を見ながら理事会にて決定する予定です。皆様、奮ってご応募お願いします。

2023年度日本天文学会各賞について

2023年度日本天文学会各賞は、2024年1月15日の代議員総会において次のように決定しましたのでご報告いたします。

◇林忠四郎賞（1氏）

- ・高田 昌広（たかだ まさひろ）東京大学 教授
研究の表題「すばる望遠鏡データを用いた精密宇宙論の探求」

◇欧文研究報告論文賞（2編）

- ・論文題目：Cosmological constraints from cosmic shear two-point correlation functions with HSC survey first-year data

著者：Takashi Hamana, Masato Shirasaki, Satoshi Miyazaki, Chiaki Hikage, Masamune Oguri, Surhud More, Robert Armstrong, Alexie Leauthaud, Rachel Mandelbaum, Hironao Miyatake, Atsushi J. Nishizawa, Melanie Simet, Masahiro Takada, Hiroaki Aihara, James Bosch, Yutaka Komiyama, Robert Lupton, Hitoshi Murayama, Michael A. Strauss, and Masayuki Tanaka

出版年等：Vol. 72 (2020), No. 1, article id. 16

- ・論文題目：Optical and X-ray observations of stellar flares on an active M dwarf AD Leonis with the Seimei Telescope, SCAT, NICER, and OISTER

著者：Kosuke Namekata, Hiroyuki Maehara, Ryo Sasaki, Hiroki Kawai, Yuta Notsu, Adam F. Kowalski, Joel C. Allred, Wataru Iwakiri, Yohko Tsuboi, Katsuhiko L. Murata, Masafumi Niwano, Kazuki Shiraishi, Ryo Adachi, Kota Iida, Motoki Oeda, Satoshi Honda, Miyako Tozuka, Noriyuki Katoh, Hiroki Onozato, Soshi Okamoto, Keisuke Isogai, Mariko Kimura, Naoto Kojiguchi, Yasuyuki Wakamatsu, Yusuke Tampo, Daisaku Nogami, and Kazunari Shibata

出版年等：Vol. 72 (2020), No. 4, article id. 68

◇研究奨励賞（3氏）

- ・木邑 真理子（きむら まりこ）金沢大学 先端宇宙理工学研究センター 助教
研究の表題「多波長観測と数値計算によるコンパクト星への突発的ガス降着メカニズムの研究」
- ・田崎 亮（たざき りょう）グルノーブル・アルプ大学 CNES Postdoctoral Fellow
研究の表題「惑星形成領域のダストの光学特性と多波長偏光放射に関する理論的研究」
- ・播金 優一（はりかね ゆういち）東京大学 助教
研究の表題「高赤方偏移観測限界における先駆的な銀河形成研究」

◇天体発見賞（5氏、12件）

- ・板垣 公一（いたがき こういち）氏 7件
超新星 2023cr の発見, 新星 V6597 Sgr の発見, 超新星 2023ixf の発見, 超新星 2023vvl の発見,

超新星 2023wcr の発見, 超新星 2023xtg の発見, 超新星 2023zgx の発見

- ・奥野 浩 (おくの ひろし) 氏 1件
超新星 2023fu の発見
- ・櫻井 幸夫 (さくらい ゆきお) 氏 1件
新星 V6596 Sgr の発見
- ・西村 栄男 (にしむら ひでお) 氏 2件
彗星 C/2023 P1 (Nishimura) の発見, 超新星 2023zvq の発見
- ・小嶋 正 (こじま ただし) 氏 1件
はくちょう座新星の発見

◇天体発見功労賞 (2氏, 3件)

- ・西村 栄男 (にしむら ひでお) 氏 2件
新星 V6596 Sgr の独立発見, 新星 V1716 Sco の独立発見
- ・中村 祐二 (なかむら ゆうじ) 氏 1件
新星 V6598 Sgr の独立発見

◇天文功労賞

長期的な業績 (1氏, 1件)

- ・佐久間 精一 (さくま せいいち) 氏
「国内の変光星観測者の育成・指導と観測データの収集・一元化, およびその国際化に関する長年の貢献」
短期的な業績 (1氏, 1件)

- ・小嶋 正 (こじま ただし) 氏
「2014年11月の 2MASS J06593158-0405277 (= V960 Mon) の FU Ori 型アウトバーストの発見」

◇天文教育普及賞 (1氏・2団体, 3件)

- ・NHK コズミックフロント制作チーム
「メディアを通じての天文学の広報普及教育への貢献」
- ・阿部 昭 (あべ あきら)
「天文趣味と天文学を繋ぐ出版活動, 特に「星の手帖」誌の発刊」
- ・天文学普及プロジェクト 天プラ
「新たな視点と形態による天文学の対話的活動」

訃 報

会員の三上孝雄氏は2023年11月26日に逝去されました。満75歳でした。ご冥福をお祈り申し上げます。

訂 正

2024年2月号目次下の【表紙画像説明】の文章が、1月号の内容となっていました。正しい表紙画像説明は以下のとおりです。お詫びして訂正いたします。

【表紙画像説明】

南米チリ共和国北部、アンデス山脈の標高5,000メートルに建設されたアルマ望遠鏡。背景には天の川と月が輝く。右側には、日本が開発した16台のアンテナ群「アタカマコンパクトアレイ（愛称：モリタアレイ）」の一部が写る。2023年3月、アルマ望遠鏡は本格運用を開始してから10年を迎えた。これまでのミリ波・サブミリ波望遠鏡を凌駕する高い分解能と感度で、惑星系の形成過程や、銀河の形成・進化、宇宙における物質進化など多くの分野で研究成果を挙げてきた。次の10年を見据え、性能をさらに向上させるため「広帯域感度アップグレード」(Wideband Sensitivity Upgrade) が進行中である。Credit:ESO/S. Guisard (www.eso.org/~sguisard)

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名: asj2024

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と **vol117** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員: 津村耕司 (委員長), 岩崎一成, 小野寺仁人, 勝田哲, 川中宣太, 西澤淳, 仏坂健太, 岡本文典,

日下部展彦, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 鳥海森, 信川久実子, 橋本拓也, 宮本祐介

令和6年2月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6

株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円)

発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2024年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)